

山陽リトレッド (株) CSRレポート

事業内容: 更生タイヤの製造、販売
敷地面積: 13,757m²
従業員数: 31人 (2014年4月現在)
所在地: 〒722-0221 広島県尾道市長者原2丁目165-28
相談・苦情などの受付窓口:
 業務部 業務課 TEL: 0848-48-3400 FAX: 0848-48-4055
 メールアドレス: ytr@yokohamatire-rt.jp



社長ご挨拶



津川 賢博

山陽リトレッドは広島県尾道市に生産拠点を有し、創業から約40年になります。ここで生産しているトラック・バスを中心としたリトレッドタイヤは、産業廃棄物を削減できるほか、CO₂の排出量も大きく削減 (60%削減) できる、環境にやさしい3R (リデュース、リユース、リサイクル) の代表的な商品です。また最近では、リトレッドタイヤの認知度も上がってきており、運送業界だけでなく行政からも注目されている商品です。このリトレッドタイ

ヤを普及させることが資源保護・省エネルギー・環境保全につながると考え、当社の環境方針である「トップレベルの環境貢献企業になる」を目指して生産、販売活動を続けております。また環境貢献商品を提供することに従業員全員が誇りを持ち、安全、環境、品質、コンプライアンスをキーワードにして、協力会社の皆さんおよび地域との共生を図っております。2006年4月に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得以来継続しており、環境に目を向けた経営を推進しています。今後は技術の向上や作業の効率化により、省資源化・環境保全をさらに推進し、同時に「良いモノを、安く、タイムリー」にお客さまへ提供できるよう活動していきます。

組織統治

コンプライアンスの推進

経理、決算を担当する部門は監査役の監査を定期的に受けており、監査による指摘点は改善し、法的な不具合や抜けがないように努めています。

人権

児童労働、強制労働

児童労働、強制労働はありません。

男女平等の推進

賃金、昇格、配置など、男女の性別による差はありません。

労働慣行

安全健康な職場を目指す

労働安全衛生活動につきましては、始業時前のラジオ体操を全従業員で行うとともに、あらゆる会議体で啓発活動を行っています。また、定期的な作業環境測定、定期健康診断の完全受診等安全衛生委員会を通じて確実に実施、フォローを行っています。

従業員の教育・訓練

新入社員教育のスケジュール化と完全実施、ならびに従業員には現場朝礼および社長による月次朝礼にてコンプライアンス、安全、環境、品質、5Sなどの基本的な教育を行い、また、製造現場ではマニュアルによる定期訓練を行っています。

災害時の対応

ヘルメット等の保護具の定期点検を行い、不具合があれば即刻交換するよう常日頃指導しています。また、消防設備については専門業者による点検を行い、点検結果を定期的に尾道市消防署へ報告をするともに、事業所のセキュリティについてはSECOMを導入し、常時監視を行っています。

環境経営の推進

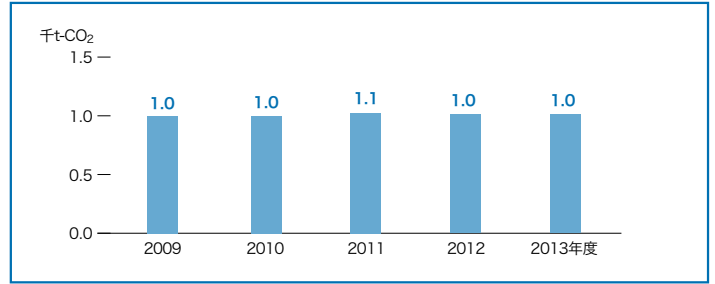
2006年4月に取得したISO14001を基本とする環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷の低減に努めています。各事業所で内部監査員を増やすこと、廃棄物削減に取り組むこと、設備の改善によるエネルギーのムダ遣い防止するなど、働くメンバーの環境意識を高めるとともに環境指標の改善を図っています。

最終的にタイヤのリユースを増やすことで、循環型社会の発展に貢献したいと考えています。

環境データ

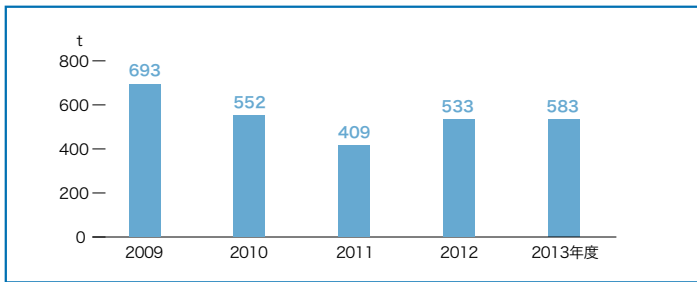
■温室効果ガス排出量の削減

・温室効果ガス排出量

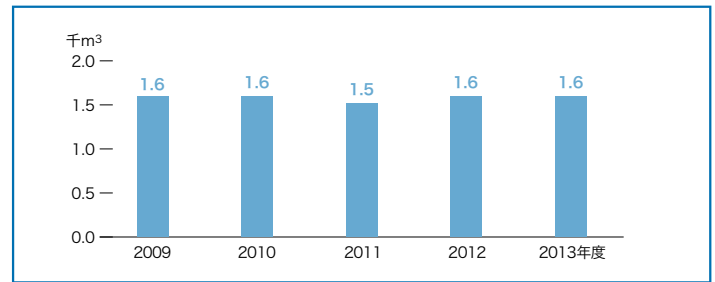


■資源の有効活用／廃棄物の削減

・廃棄物発生量



・水使用量



騒音、振動、臭気について

定期的に騒音測定を行い、自主モニターのヒヤリングを通して 騒音、振動、臭気の発生防止に努めています。近隣からの苦情はありません。

化学物質の管理状況 (PRTR法への対応)

横浜ゴムと連動して、各事業所で使用する化学物質のリストアップを進めることでSOC管理を行っています。またPRTRは、対象物質について国と県に届出を行うことで確実な管理を実施しています。

取引先との信頼関係の構築

更生タイヤの販売、台タイヤ(古タイヤ)の購入、および産業廃棄物の処置など、多くの協力会社と関係がありますが、法的資格を有していることを必ず確認した取引を行っています。産業廃棄物関係では処理業者の監査を実施することで法令順守に努めています。

お客さまとの信頼関係

お客さまからの品質に関するお問い合わせについては、ヨコハマタイヤジャパン各販売店や、横浜ゴムタイヤ技術サービス部、タイヤ品質保証部と連携し、適切な品質対応をしています。原因究明と対策歯止めを確実に実施するようにしています。

ステークホルダーとの信頼関係

消防組合総会などへ定期的に参加し、地域とのコミュニケーションを図っています。また、地域の花火大会などの地域活動にも協賛しています。